

日本・ブラジル交流史年表（1867年～1941年）

太字は展示史料と特に関係の深い事項

西暦	和暦	月	事項
1867	慶応2	1月※	榎本武揚乗船の軍艦開陽丸、リオデジャネイロに寄港
1874	明治7	10月	フランス天体観測隊の一員としてブラジル人のアルメイダ博士が訪日
1880	明治13	11月	ブラジル軍艦ヴィタル・デ・オリヴェイラが日本に寄港
1888	明治21	5月	ブラジル国内の奴隷解放
1889	明治22	8月	ブラジル軍艦アルミランデ・パローゾ号入港、乗組員および同乗の皇孫オーギュスト殿下が明治天皇に謁見
1891	明治24	8月	外務省に移民課設置（2年後廃止）
1893	明治26	3月	榎本武揚ら「殖民協会」設立
1894	明治27	7月	根本正、中南米諸国視察に出発
1895	明治28	11月	「日本国及伯刺西爾合衆国間修好通商航海条約」調印（1897年批准）
1897	明治30	8月	在ブラジル公使館開設、初代駐ブラジル公使珍田捨巳着任
1905	明治38	4月	杉村濬駐ブラジル公使着任
1908	明治41	4月	第一回ブラジル移民船笠戸丸、神戸を出航（6月18日サントス着）
〃	〃	6月	ブラジル海軍練習艦ベンジャミン・コンスタント号が世界周航の途次ウエーク島で遭難中の日本人を救助して横浜に入港、艦長ペレイラ中佐に叙勲
1910	明治43	6月	軍艦生駒、アルゼンチン百年祭の帰途リオデジャネイロに寄港
1922	大正11	9月	ブラジル独立百年祭
〃	〃	10月	「レイス法案」下院に提出
1930	昭和5	10月	ブラジル護憲革命（1932年終熄）
1932	昭和7	11月	「日伯中央協会」設立、高松宮総裁就任
1933	昭和8	6月	日本移民渡伯25周年記念式典、日本病院定礎式
1934	昭和9	7月	移民二分制限条項を含むブラジル新憲法成立
1935	昭和10	5月	ブラジルへ経済使節団派遣
1936	昭和11	9月	ブラジルより答礼の経済使節団訪日
1939	昭和14	4月	日本病院完成
1940	昭和15	9月	「文化的協力に関する日本国ブラジル国間条約」調印（1941年批准）
1941	昭和16	6月	戦前最後のブラジル移民船が渡伯

※1867年1月は慶応2年12月にあたる。